



#### 第788回抄録委員会（1月15日）

本誌4月号に掲載する、「テーマ別抄録」の内容等について審議を行った。



#### 配管設計講習会（関東会場第3回：1月15日～17日）

水道事業体及び民間企業等において配管設計の経験が少ない水道技術者の方々52名の参加を得て、「水道の課題と設計業務」、「配管設計・積算の基礎知識」、「製図の基本」、「管路（GX形）の製図演習」、「積算の基本」、「管路（GX形）の積算演習」について研修を実施した。

#### 水道事故防止研修会（大阪会場：1月16日～17日）

浄水場の運転・維持管理に従事する技術職員の方々22名の参加を得て、「浄水場におけるリスクアセスメント」、「水道事業に関わる事故事例と再発防止策」、「水道事業における危機管理」について、ディスカッションを中心とした研修を実施した。ディスカッションではグループごとに事故の原因や再発防止対策等について、講師が用意した事例を基に討議を行った。

#### 水道施設管理技士1・2級資格試験（実施日：1月19日）

令和6年度水道施設管理技士1級及び2級の資格試験を全国6会場（札幌市、仙台市、東京都、名古屋市、大阪市、福岡市）で実施し、計771名が受験した。

## 第206回工務常設調査委員会（1月21日）

冒頭、本荘谷工務部長から開会挨拶があった。

その後、鈴木委員長の進行の下、「JWWA規格の改正について」、「JWWA規格の検討開始について」、「設備更新の手引き書について」、「水道メーター検定有効期間の検証及び検討について」審議を行い、了承された。

この他、「地震等緊急時対応の手引き改訂の進捗状況について」、「水道施設設計指針改訂の進捗状況について」、「震災等の非常時における水質試験方法（上水試験方法別冊）の改訂について」、「配水管講習会に係る受講料及び大口径管新設会場の準備について」、「社会資本整備重点計画等に関する要望・調整について」、「令和6年度全国会議・2024神戸水道展『水道PRブース』実施報告」、「令和6年度特別プログラム情報発信スキルアップセミナーの開催について」事務局より報告を行った。

加えて、名古屋市上下水道局渡部委員より「令和6年奥能登豪雨に係る応援水道事業体の対応等について」、東京都水道局藤川副委員長より「東京都における水道水からの異臭について」報告があった。



## 浄水場等設備技術実務研修会（東京会場第7回：1月21日～24日、東京会場第8回：2月4日～2月7日）

浄水場・給水所等の運転管理に携わる技術系職員の方々27名（第7回：13名、第8回：14名）の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターの訓練用設備を利用して、実際にポンプの分解組立等、機器類の運転・操作及び浄水処理について実習するとともに、設備機器の保守・管理の実務について研修を実施した。

## 水道技術者専門別研修会【水質管理部門】（1月21日～24日）

当該部門の水道業務に従事する実務経験概ね3年以上の技術系職員の方々88名の参加を得て、「水質概論（衛生管理含む）」、「水質管理（原水・浄水・送配水）」、「精度管理と成績表示」、「理化学試験（生物試験・微生物試験・一般性状・非金属・金属・無機物・有機物）」、「機器分析（機器分析の基礎・無機物の分析・有機物の分析・機器分析の応用）」について、研修を実施した。

#### 第41回広報専門委員会（1月27日）

審議事項「人材確保に向けた水道界の魅力向上に繋がる広報手法の検討について」を事務局より上程し、「人材確保・育成に関するアンケート」の集計結果および、前回の委員会で決定され実施した人材確保の取組についての事業体へのヒアリングの結果を報告した。



次に、事務局にて作成した学生向けと首長部局向けの2種類の資料について説明を行い、委員と意見交換を行った。両資料は、委員からの意見を踏まえて修正し、事務常設調査委員会への報告後、本協会のウェブサイト等を通じて全国の事業体に周知することとして了承された。

最後に、事務局より、令和6年度情報発信スキルアップセミナーの実施について、令和6年度全国会議・2024神戸水道展「水道PRブース」について報告が行われた。

#### 第202回水道 GLP 認定委員会（1月28日）

水道 GLP 認定について審議した結果、桐生市水道局（JWWA-GLP039）、株式会社理研分析センター（JWWA-GLP147）の認定更新を決定した。

また、阪神水道企業団（JWWA-GLP012）、福岡市水道局（JWWA-GLP013）、周南都市水道水質検査センター協議会（JWWA-GLP065）、福井市上下水道局（JWWA-GLP067）及び一般財団法人三重県環境保全事業団（JWWA-GLP113）の認定維持を決定した。

#### 水道技術者専門別研修会【導送配水施設部門（設計施工と維持管理）】（1月28日～1月31日）

当該部門の水道業務に従事する実務経験概ね3年以上の技術系職員の方々86名の参加を得て、「配管設計の基礎」、「導・送・配水施設の整備・維持管理」、「施設（構造物）の設計」、「水運用計画」、「配管施工の実務」及び「漏水防止」について、研修を実施した。

#### 第141回人材マネジメント専門委員会（1月29日）

審議事項として「人材確保・育成等に関する調査審議について」を上程した。

まず、各検討事項のヒアリング結果等及び委員の意見として、事務局より、各検討項目について、前回の委員会において効果的と思われる取組事例、個別にヒアリングを行うべき取組事例として挙げられた対象事業者へのヒアリング結果及び委員へのアンケート結果を報告し、検討のポイントを整理した。これらを踏まえ、各委員から意見があった。

次に、今後の方向性について、首長部局への要望についてはリーフレットの雛形作成をもって検討を終了し、その他の検討項目は引き続き検討することとした。

また、次回からの審議は学識者を交え審議を進めることとした。



#### 第1032回会誌編集委員会（1月30日）

本誌2月号の編集方針、投稿原稿の査読状況等について審議を行った。



#### 第59回 IWA 日本国内委員会（1月30日）

はじめに、審議事項「若手国際活動支援等資金の運用計画について」を上程し、令和7年度以降の当該資金の運用計画を決定した。

続いて、報告事項として、「IWA 理事会参加報告」、「IWA 戦略評議会活動報告」、「Japan-YWP の活動状況について」など、各担当者から最近の IWA に関する活動内容について報告が行われたほか、事務局より2025年10月にニュージーランドのオークランドで開催される IWA-ASPIRE（アジア太平洋地域）について情報共有を行った。



### 地震等緊急時対応の手引き改訂特別調査委員会 第3回応援体制・情報連絡等に関する小委員会（2月3日）

冒頭、千秋総務部長より挨拶を行った。

はじめに、「第2回応援体制・情報連絡等に関する小委員会議事要旨案について」原案のとおり承認された。

次に、「地震等緊急時対応の手引き改訂素案について」事務局から説明を行い、委員による質疑があった。

最後に、「今後のスケジュールについて」事務局より説明があり、了承された。



### 地震等緊急時対応の手引き改訂特別調査委員会 第3回応急給水・応急復旧等に関する小委員会（2月4日）

冒頭、本荘谷工務部長より挨拶を行った。

はじめに、浅岡委員長の進行の下、「地震等緊急時対応の手引き改訂素案」について事務局より説明し、参加委員への意見聴取が行われた。

その後、聴取された意見の審議が進められ、修正した「改訂素案」を2月21日開催の特別調査委員会へ上程することが承認された。



### 水道技術者専門別研修会（浄水処理部門）（2月4日～7日）

当該部門の水道業務に従事する実務経験概ね3年以上の技術系職員の方々71名の参加を得て、「浄水処理プロセス」、「高度浄水処理」、「オゾン・活性炭処理（UV処理を含む）」、「膜処理」、「生物処理（緩速沱過を含む）」、「水道水の消毒と代替塩素剤」、について研修を実施した。

### 第113回経営調査専門委員会（2月6日）

「水道料金算定要領」改定案及び「水道料金算定要領」改定に関する報告書案についての審議を行い、闊達な意見交換の後、委員意見を反映の上、事務局案のとおり進めることについて了承された。

また、今後のスケジュールについて、2月17日の事務常設調査委員会での審議を経て、年度内に公表を行う旨、事務局より説明を行った。



### 第93回中小規模水道問題協議会（2月7日）

はじめに、鹿児島県曾於市水道課 大峯水道技術管理者より、「上下水道職員の困りごとを解決する一体型クラウドシステムの構築について」をテーマに講演を行った。

続いて、メンバー都市から提案された情報交換事項「①給水契約解除について」、「②技術の継承及びスペシャリストの育成について」、「③災害時における水道資材等の備蓄について」、「④有収率の向上対策について」、

「⑤上下水道耐震化計画策定に関する対応について」、「⑥給水管の本管からメーターまでの間の保温材の扱いについて」、「⑦給水車等における運転員の確保について」、「⑧水道事業における電子申請の状況及び課題について」、「⑨水道料金の請求月について」の9題について、それぞれ情報交換を行った。

最後に、「『水道の基盤強化に向けたミーティング（仮称）』の実施」、「水道賠償責任保険のサービス拡充」、「水道 PR ブース実施報告」について、事務局から報告を行った。



#### 第45回府県営水道連絡協議会（2月10日）

本協議会のメンバー事業者から提案された情報交換事項、「アセットマネジメント計画における水需要予測について」、「水道広域化（経営の一体化）の状況について」、「水道広域化について」、「共用施設の耐震化について」、「他事業との共有施設における耐震化について」、「管路耐震化における事業費の調達、料金回収、補助要件について」、「管路DB導入について」、「給水料金（受水費）負担軽減について」、「ダム水源における利水容量と治水容量について」、「水道料金算定における遊休資産の減価償却費について」、「資金残高（内部留保資金残高）及び企業債残高の基準について」、「国庫補助事業への対応状況について」、「サイバーセキュリティ対策の実施状況について」、「夏季の高温時期における次亜塩素酸ナトリウムから発生するガス対策について」、「コンクリート構造物の修繕について」の、計15題についてそれぞれ情報・意見交換を行った。